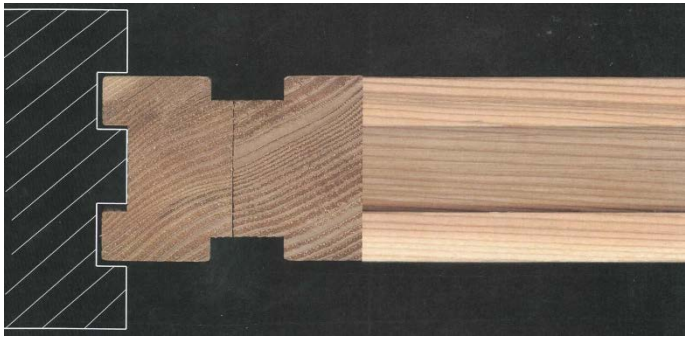
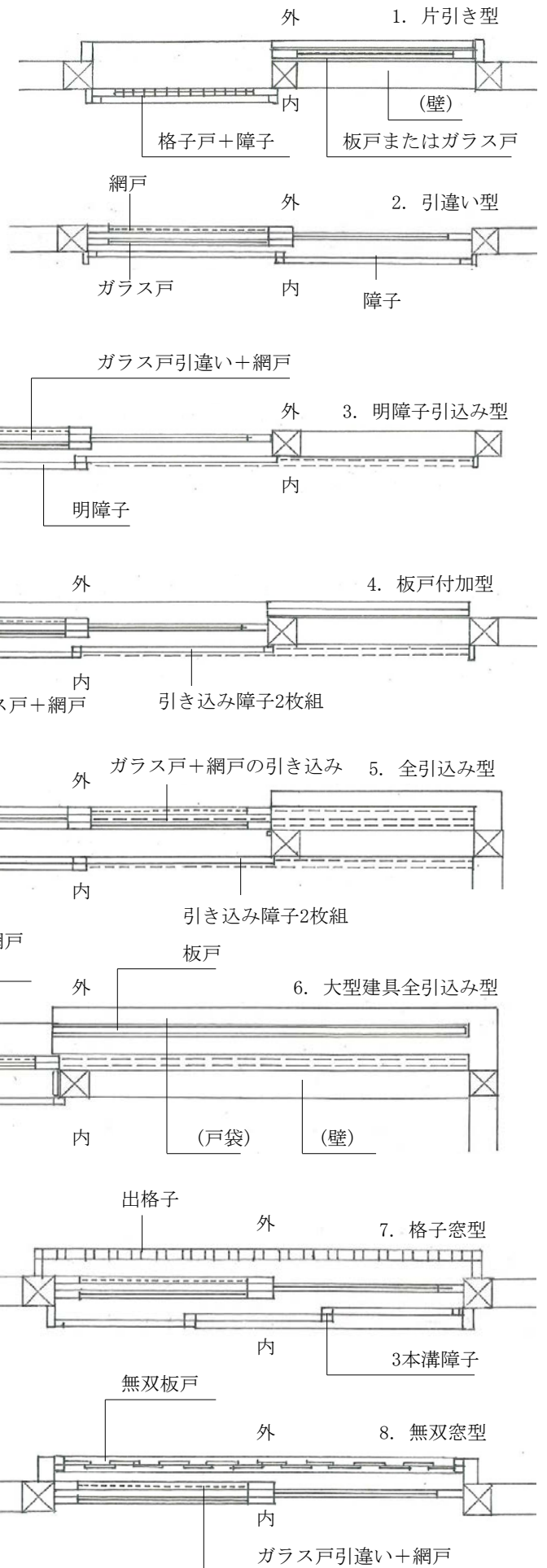


戸当り部のディテール模式モデル(平断面)



A 戸当り縦枠 (斜線)
 B 縦框※
 C 手掛けしやくり
 D 縦框
 E 上・下框

●建具類の組み合わせ (平面説明図)



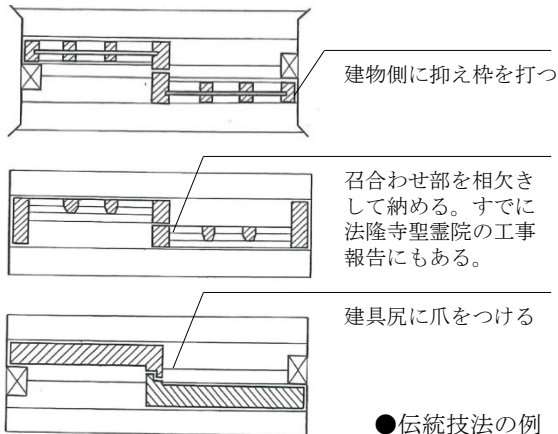
●開口部の建具類の組合せシステム

図は開口部における引戸の組み合わせ例を示している。板戸・網戸・ガラス戸・明障子の4種類を具体的に設定している。具体的であるが、それは4種類の建具が備えている要素の違いを複合させることで、多様な展開の可能性を導くためである。

例えば、ガラス戸の選択は①透明・板ガラス、②半透明・複層ガラス等であり、それにより付加的な建具の要・不要や種類が関係する。また断熱効果を優先しなければ、障子からブラインド等に代わることになる。これらの選択基準は、地域環境、プライバシー、室内温度調整、制御手法、建具素材などの条件をふまえて決定する必要がある。

写真は木製建具の場合の納まりの例である。木は生きているため、気温や湿度に反応・反する性質や熱橋とならない点などの利点を活用したい。

上図B部※の縦框は、引込み建具の修理の際、取外し機能をもたせる。縦枠側に棧を打つ方法もある。



●伝統技法の例

伝統的な引き違いの納め方・「伝統のディテール」 彰国社(1972)